

1 1 月 2 2 日 中間報告説明会における質問及びご意見

No	質問・ご意見	回答
1	<p>有機フッ素化合物の健康影響には、アメリカの研究では発がん性、脂質関係とくに影響があるということだが、先生の説明ではアレルギーとか発がん性は知見が不十分ということで調べていないということだが、なぜ発がん性については比較する必要がないという結論になったのか。</p> <p>発がんや脂質異常などについても調べてほしい。</p>	<p>今回は、すぐにデータのある特定健診や出生体重のデータで検証させていただきました。発がん性、がん登録、この委員会でもどう評価するべきか、発がんが増えているかどうか検討をしていく必要があると思います。</p> <p>まずは早急に分析できるデータが、コレステロール、肝機能でしたので、そのお話をさせていただきました。</p>
2	<p>特定健診について40代以下の人のデータペースがないと思うが、そういう人たちの調査、予定があるのか。年齢によって疫学的に差が出るのか。</p>	<p>今回検証できた年齢が、生まれたところまでと、40代以上ですので、その間はまだ検証できていません。委員会の中でどのように検証したらいいのか検討していく必要はあると思います。確かにおっしゃるように、そこに検討する既存のデータはないので、どのように評価していくのか、委員会の中で検討していく必要があると思っています。</p>
3	<p>町のデータに基づく分析では、「あまり問題がありませんよ、安心してください」という風に聞こえるが、それでいいのか。有機フッ素化合物が血液の中にどれだけ入ってるか蓄積されているのか、町のデータでは何も見えていない。円城地区とそれ以外の地区で血液検査を実施して比較分析をしていくということが必要だと思う。有機フッ素化合物が人体に影響を及ぼす様々な問題点を指摘をされているわけだから、通常の何十倍もの水を何年間も飲まされて、少なくとも我々は安心できない。まずは安心をするということを最優先に先生方が集まっているのであれば、そういうことを大前提にしていきたい。</p>	<p>今回は海外で知見のある肝機能、コレステロールの項目について健診のデータがあったので分析させていただきました。</p> <p>2022年度のデータに関しては、健康に影響があるとは言えませんでした。出生体重に関しては将来のデータを見た方がいいと思っています。血液検査に関しては特別ではないかと思っています。血液検査の利点・欠点はあり、委員会でも検討させていただいています。委員会でも様々な意見が出ました。町の考え方、私たちの考え方がありますので、意見を提案していきたいと思っています。</p>
4	<p>血液検査の欠点とは何か。難しいことが欠点じゃないでしょう。あえて欠点というのは、おかしいのでは。</p>	<p>欠点と言うのは、基準値がないので、血液検査の結果をどう解釈するか、それが難しいと思っています。</p> <p>血液検査をしたことによって、こっちの方が高かったっていうのはあると思いますし、下がっていくっていうのも見えますので、そういうところは利点だと思います。ただ結果だけ取ってそれをどう解釈したらいいのかは難しいということです。</p>
5	<p>住民でも生活習慣とか、暮らし方が違う。どれだけ毎日水を飲んでいるか、ただ血液検査をして血中濃度を見たら、どのくらい摂取したのか分かるのではないか。</p>	<p>たくさん飲まれていたら増えると思います。</p>
6	<p>結果をみて、これからどういう影響が出るか、その人1人1人が今までどういう健診をしてきてどういう数値を持っているか、総合的に、1人1人の健康調査しないと分からないのではないか。今回40歳以上だけのデータで「安心じゃないか」というのはすごい乱暴ではないか。血液検査する必要ないって仰っているようにしか聞こえないが、いかがか。</p>	<p>血液検査に関しては、検討すべきだと思います。いろいろご不安だと思いますので、血中濃度とコレステロールの検討も出来たらいいと思っています。</p> <p>血液検査に関しては今後、委員会で検討していくと思います。今は、40歳以上のデータしかないので多くの方に健診受けていただき今後比較することができたらいいと思います。</p>
7	<p>検診は特定健診、町がやっているものだけではなくて、個人的に人間ドックを受けている方はいっぱいいる。そういうデータは聞き取り調査でデータを引っ張てこれると思う。そういうことをきめ細かにしないと分からない。</p>	<p>定期検診だけでは足りないところももちろんあると思いますので、そこをどういうふうに集めていくかは検討すべきことだと考えています。</p>

1 1 月 2 2 日 中間報告説明会における質問及びご意見

No	質問・ご意見	回 答
8	<p>私達住民も血液検査の結果のみをもって、健康の影響は把握できないことはわかっている。一方、健康診断で病気が見つかったとして、それがPFOSのよるものだと言えないことも同じ理由で明らかだと思う。</p> <p>PFASが体の中に、今回でいえば血中濃度および結果、健康診断で把握される健康の状態・変化、この両者を照らし合わせて初めて引き起こされた健康の変化がPFASによるものかどうかということが明らかになるのではないかと。つまり、この二つを同時に行っておくことがこれからの大前提になるのではないかと。一個人が、「私のがんになりました。」「PFASの血中濃度が高いです」と言うだけでは個人だけっていうことになるので、円城の集団で、その両方をやった上でどういう傾向があるかを見ることが大切なのではないかと。現在、健康状態に異常が無いから良いんだということではなく、PFASが体の中にまだ5年10年残り続けるものである。これからの5年10年子供なんかはこれから人生がかかっているような状態なので、ちゃんと5年10年血中濃度と健康診断、その2つを合わせて見ていく必要があるんじゃないかと 原因と結果の両者に注目し、その関係を明らかにするという、科学の基本なのではないかと。</p>	<p>おっしゃるとおりだと思います。</p> <p>実際、血中濃度を測定して、LDLコレステロールとの関係を見るのも検討した方がいいかなと思います。</p> <p>今回させていただいたのは一つの暴露されてるということを指標として、原因と結果と原因の方の居住区で、水俣の調査で同じような調査をさせていただきました。ご指摘のように円城地区で生まれてこられる子供がどういった状況であるかとか、そのようなことも検討する必要があるのではないかと考えています。</p>
9	<p>例えば、PFOS、PFOAが子供の成長に何か悪影響があるんじゃないかということがネットに書いてあったりもされているが、ご存知か。今後、子供の成長を追っていくことは検討されているのか、それともされてないのか。</p>	<p>私も研究をまとめたレポートを見させていただきました。その中でもいくつも研究があり、それを取りまとめたものの中では、子供さんの発達に関しては影響があるとする研究もありますし、はっきりしない研究もあると認識しています。子供の成長を追っていくことは議論するところかと思えます。円城地区で生まれた子供さんの血液を全員採るのがいいのかわかりませんが、例えば円城地区、円城地区以外で生まれたお子さんと、3歳、1歳健診で比較するのが分かりやすいかなと思います。</p>
10	<p>疫学的に考えると、他地区と円城地区の子どもの平均身長体重を比べてもあんまり意味がない。全然意味がないとも思わないが。</p> <p>要は成長率の問題、例えば円城地区の小学生が1年間全体の平均身長がどれぐらいの成長率であるか、岡山市内の子供たちと成長率が違う、そこを調べた方が個人的にはいいのではないかと思う。データから平均身長だけでみるとどうしても捉えきれないところがあるので、たとえば成長曲線などもみていかないといけないのではないかと思う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>

1 1 月 2 2 日 中間報告説明会における質問及びご意見

No	質問・ご意見	回 答
11	資料の今後の予定に低出生体重児の前向きに評価していくことを想定とおっしゃっていたが、前向きとは具体的にどういうことか。体重だけを見ていくのか。どういった検査をするのが有効と思うか。	10年分のデータを見ています。2024年、2025年、2026年はどういうふうにご子供の体重の変化をみていくことを前向きと言います。子どもに関しては、適正体重。もしかしたら項目を追加するかもしれません。体重以外のところも評価することを検討してもいいのかなと思います。子供に関する知見について、たとえば、先ほどの話に成長率を見るというのがあったと思います。体重とか身長とか発達のところとかはまずは見た方がいいのかなと思います。すぐに見れるところです。怪しいなと思えば、深掘りしていくことが必要だと考えます。
12	年に数回献血することは可能か。円城地区の血液検査をして、血中濃度を把握して、アメリカやドイツでは健康被害のある・ないの指標がなんとなく出るので、それを参考にして献血をしてもいいのか、健康被害はないとか、それは判断基準にならないのか。保健課は「円城地区の方はお断りということ血液センターからは言われてないので、大丈夫ですよ」と回答した。「他の人の体に入れるものだから、もう1回確認してください。血液センターに言われたことですか。」と言ったら、「確認します」と言われた。「血液センターに確認した結果、問題ない。一時的に他の人の体に入ってもおそらく影響はない。もし影響があるようだったら、センターではじかれまますから大丈夫です」という回答を吉備中央町の保健課の方から言われた。保健課の人に教えてほしい。	いまおっしゃられたとおりで、血液センターの方に確認をさせていただいて、そのような回答をセンターからいただいています。（保健課長）
13	疫学とはどのようなものか。データ重視で片づけるのか。	病気の広がりを調べて、原因と結果の因果関係を検討する学問です。データがないと因果関係があるか検証できませんし、データを集めないと評価できないのです。
14	飲酒、喫煙、異物が入ると健康被害が僕の認識。これも異物にはならないのか。健康に害を及ぼす認識。水を飲んだ人全員調べるべきであり、数名のデータだけでは納得できない。	タバコを吸って肺がんになる人、ならない人がいます。データを集めてきてタバコは肺がんを引き起すという知見を出していきます。異物だと思えます。 中間報告なので、今のところこのような状況だったということです。今言ったご意見を参考にさせていただいて、過去から将来的にどう検証していくべきか検討したいと思います。
15	中間報告、マスコミ等で健康被害がないというのが非常に先行している。今は中間報告であり、全然影響がないとは言えないとはっきりしてほしい。日本で初めて実験をしたわけだから、後世に使えるように残してほしい。	2022年度のデータでは、健康被害があるとは言えませんが、今後検証が必要であると考えます。まずは海外で関係が出てと言われる、コレステロール、肝機能、低体重児のデータは残すべきだと思います。
16	聞けば聞くほど不安になる。2人の娘の健康が心配。せめて娘たちの血液検査をしてほしい。見ていただかないと、どこでどう安心していいのか。お願いしたい。研究者として提案してほしい。	研究者として、実際に血液検査のデータと体重の関連を検証し、科学的に評価することは、興味があるところです。研究者として聞かれた場合には、今日のような回答になります。血液検査と出生時の体重の分布の比較は、研究者としては興味があります。

1 1月22日 中間報告説明会における質問及びご意見

No	質問・ご意見	回答
17	血液検査を実施した場合の結果を評価するのが難しいとおっしゃったことについて詳しくお聞かせ願いたい。	数値を見たときに自分がどう考えるのか。たとえば、海外の知見との比較、他地域との比較で高いか低いかは、理解はするとか、そのような評価で終わってしまうと思います。単一の1回2回みて自分自身どう理解するのか。他地域と比較したりとか、どのように下がってくるかということ、個人として見るのはありかなと思います。
18	大阪で1000人規模の血液検査をやっていた。「あ、できるんだ」と思った。血液検査をしない理由が分からない。子どもの10年20年30年。知らないまま飲まされていた。町の人と大学の人と一緒に考えていただきたい。不透明で見えない。3年間隠べいしていたとしか思えない。1000人中のたった100人。40代以降で限定的。年度末とかどこかで区切って。具体的にプランを言えますか。	健診に関しては、自分たちの手元にあるデータをきれいに解析するため、時間がかかります。次の解析が出来たら年内に出したいとは思っています。委員会として、年度内に何らかの結論出す必要あると考えています。説明会を定期的にさせていただきたいし、なるべく早く提言したいと思います。
19	町に不信感を持っている。3年間の隠べい。町への不信感がスタート地点。一個人の人間として見られていない。不安が大きい。住民のために立ち上がっている委員会だが、町に有利にしゃべっているように映る。集団ではなく個人の未来への委員会であると伝えてもらえた	ご意見ありがとうございます。
20	特定健診、後期高齢者健診の結果では、有機フッ素化合物と直接関係ない。もし値が高く出た場合は、ガンになるのだろうかと考えると夜も寝れない。寄り添ってほしい。円城地区1人1人のために、検査をしてほしい。今後の方針を立てていただきたい。	ご意見ありがとうございます。
21	町への不信感が募って募ってどうしていいの。年内、年度内に被災者認定をしてほしい。住民票レベルだけではなく事業所で働いているスタッフも含めて広い範囲でしていただけたら。責任として。	水俣病裁判は今も続いています。どこまでが汚染された人だとか、食べたものを証明するものもなく、暴露を立証することがたいへんです。患者さんたちが困っています。早めに対応した方がいいと思います。
22	いろいろところで血液検査をされているが、そういったところとの連携の可能性はあるのか、ないのか。ゼロから測って研究するよりは、すでに何年か前に測った研究結果なりデータをいただく方が費用的にも時間的にもメリットがある。	委員会の中にそういう話は出ています。委員会にも有機フッ素化合物の研究をされている先生がいますので、情報をいただくことは必要だと思います。
23	岡大にはPFOS、PFOAの研究費用はあるのか。研究費用を捻出することは可能か否か。	岡大が測定していくのはなかなか難しいのではないかと思います。町が測られるということであれば、データをリンクさせていくことはいいのではないかと考えます。
24	血液検査は1回いくらかかるのか。	いろいろあると思いますが、15万くらいと聞いています。
25	隠べいは事実か。異常というより違法だ。賠償請求が発生する違法な状態だったということで間違いないか。損害が立証できれば請求することは可能であるという異常な状態だったということでもいいか。	聞き取り調査をした限り、また書類を見た限りでは、本当に認識不足であると考えます。やってはいけないミスではありますが、隠べいではないと私は思っています。塩素酸については、異常な状態であったと思っています。賠償請求の方は分かりませんが、異常な状態ということで、それに対する措置を速やかに行うことは意識していかなければならないと思います。報告の義務ができていなかったということも事実です。(町長、水道課長)

1 1 月 2 2 日 中間報告説明会における質問及びご意見

No	質問・ご意見	回 答
26	町で血液検査の費用を捻出する予定はあるか。	皆様のご要望を私も分かっています。委員会に町としての考えは伝えています。15万円で1,000人というのであればその様にしたいです。
27	血液検査をして血中濃度が高いという結果が出たからといって健康被害にあったという結果はない。発がん性とかいろいろな問題で血中濃度と無関係に結果がある程度分かるものについて調べてもらう方が重要。発がん性について調べてもらうことが先決。血液検査の金額が1人15万は高い。80歳の私が結果が分かったところで大して変わらない。若い方の血中濃度は調べるにしても、デメリットはちゃんと分かった上で、全員やらなくてもよい。これ以上の風評被害が出るような検査は、私はどうかと思う。やってほしいという方はやってもらいたい。お年寄りあまり意味ない。それなら15万もらった方がいい。そういう人もいる。	ご意見ありがとうございます。
28	私が聞いたところ血液検査は1人5万円でできると聞いている。金額は確認した方がいい。	差はあるのだと思います。全部測ると15万と聞いただけです。ばらつきがあると思います。金額については確認した方がいいと思います。
29	10年以上前からあったのではというところまできている。とにかく血中濃度を調べてみないと比較ができない。重要なものだと思っている。	ご意見ありがとうございます。
30	水俣病の方にとってへその緒が大事だとおっしゃっていた。我々にとってのへその緒は血中濃度。今後そういう証拠を残しておかないと、へその緒がなくなってしまう。ぜひお願いしたい。	委員会の中でもサンプルで測るという意見も実際に出ています。たとえば、小さいお子さんとか、年齢層それぞれ取ってきてサンプルとする。円城地区以外の方と比較するとか、そのような形で測定するなどが考えられます。今日はお声を聞く場でもあると思って来ています。みんなで検討したいと思います。
31	委員会の検討結果、もう少し先につながるような方向性を示していただけるのは年末か。	血中濃度を測るのはすぐできるかもしれませんが、既存のデータがあるので、まずはこれをやった方がいいと思います。データの解析はすぐできるものではなくて、きれいにしないといけないところもあるので、年内に結果を取りまとめることができたらいいなと思っています。住民の方の意見を聞いてみたいという意見もありました。委員会での検証が必要だと思うし、委員会でごやらせていただいているのが、血中濃度の件もそうですが、委員会でもいい意見を出そうとしています。それを取りまとめて次の委員会を開催しようということになっていますので、委員会の中での意見の取りまとめが年内にできるかというのは、次の委員会の日程によりますので、年内に血中濃度に関してというのは分かりませんが、年度内には何らかの提案は委員会として出したいと思っています。年内に関しては、まずは既存のデータの結果を取りまとめたと思っています。

1 1月22日 中間報告説明会における質問及びご意見

No	質問・ご意見	回答
32	<p>年内に60歳未満というとくりが広いが、10代20代30代40代という、10歳間隔でもいいが、その結果が出るということか。データ自体がないと言われているのに、そういう結果がどこから出てくるのか。</p>	<p>特定健診、後期高齢者健診に関しては、年内にデータをまとめたいです。先ほどからご指摘があるように、健診を受けているのは全員ではないし、40代以上の方しか健診に入っていません。働いている方も入っていないので、不十分だとは思いますが、まずすぐできるところで40代以上の方になりますが、早く取りまとめたいと思っています。他の年齢に関して、先ほどからご指摘があるように、どういう風に評価できるか、すぐできるデータがありません。そこは検討すべきと考えています。</p>
33	<p>そもそも、すぐできる行動として血液検査は可能であるのに、どうしてそれをしないのか。サンプルで測るという意見が出ていると言っていたが。</p>	<p>委員会を開催したのが先週の金曜日でした。血液検査をどうするか議論し始めたところであり、委員会からの提言ということに関して、血液検査に関してこうですという議論は深めれていません。委員会に「こういう意見が出た」ということは伝えたいと思います。既存のデータがあるものに関してはすぐできるので、40歳以上のコレステロールとか肝機能、関係していると言われてるところをまずは検証したいと思っています。</p>
34	<p>少なくとも専門家の方が客観的に議論することは理解するが、被災者へ寄り添うことをまずは考えていただきたい。浄水場の水を飲んで健康不安を抱いたということを大前提に検討してほしい。11月10日に1,038人の署名を町に届けた代表を務めている。町外が500、町内が500。町内署名者のうち、300名以上が円城地区の住民。少なくともその300名以上は血液検査してほしい人たち。署名の中身は血液検査をやってください。もう1つは水道料金の返還。血液検査をやってほしいと町に表明している。譲れないとはっきり申し上げておく。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
35	<p>血液検査をすればしたら、すぐにはできない。すぐした方がいいのか、ある程度期間をおいても問題ないのか。専門家の意見を聞かせてほしい。</p>	<p>血中濃度の半減期が数年ということになっています。たとえば、今日明日すぐに取りたくないということにはならないと思っています。測定するなら半減期を加味して測定する。暴露されていたところに反映するということになると思います。住民のお声をお聞きして検討することが大事だと思います。すればしたら、来年度の特定健診、4月からとかでしょうか。そういう血液検査をする機会にいっしょに測定するのはありなのではないかと思っています。特定健診を受けない方をどうするかは考えないといけません。採血する機会があるなら、そこを利用するのはありなのではないかと思っています。</p>
36	<p>血液検査をするのであれば、どれくらいのサンプル数が必要なのか。「ある程度サンプル数が必要だ」ということを委員会でしっかり検討しないと話が前に進まない。</p>	<p>実際のデータとか分布を、少し他のところを見てもいいと、サンプル数は描けないと思います。たとえば、海外の測定されている平均とか、ばらつきを見て、サンプル数を設定しないといけません。データを見てもいいとお答えができません。するなら、円城地区だけでやるよりは、円城地区以外の方との比較をした方がよいと思います。測定する時は、委員会から「これくらいは測定した方がいい」ということを提言すると思っています。</p>

1 1 月 2 2 日 中間報告説明会における質問及びご意見

No	質問・ご意見	回 答
37	私たちは委員会で話された内容を知らない。どういった委員構成でどういった意見が出されたかも知らずに今日の説明会に来た。次回は説明会の前に（委員会の）議事録を見られるようにしてほしい。	分かりました。ありがとうございます。（保健課長）
38	本日の議事録は公表されるのか。	取りまとめて公表します。（事務局）